



長野高校  
2 学年  
SGH 通信



緑のファイルにまとめましょう  
第 32 号  
2017 年 8 月 23 日 (水)  
26 日 (土)

## 提出物の確認

下記の 2 つの提出物は本日の授業終了後に、提出をしてください。

### (1) 個人レポート

2 枚以上の場合、提出後コピーをとるため、クリップ等でまとめる (ホッチキス止めはしない!)。

### (2) FWII の報告書

全員提出をすること。すでに提出したものは、本日返却します。

#### 【写真提供のお願い】

「有隣」第 28 号で記載したように、FWII でも改めて、皆さんの活動がわかるような写真を次の手順で提供をお願いします。(写真の条件は有隣第 28 号参照)

- (1) メールにて SGH 推進室 (sgh-naga@nagano-c.ed.jp) に送信してください。
- (2) タイトルに「〇〇〇〇班 写真」と書いてください。(班の数字は半角で!)
- (3) メール本文に写真の撮影日時、場所、状況の説明を書いてください。

## 本日の流れ (前半)

### (1) 「プレゼンテーション (ppt 作成) について」説明 (7/18or19 に配布した資料より)

現時点での準備できる授業は 2 回のみです。(※ 4 ~ 7 組は 8/26 土セミに追加の授業)

9/5, 6 (プレゼンシート及び原稿作成)    10/10, 11 (発表リハ)    → **10/12 (発表会)**

班研究のまとめ方には、主に次の 2 つの型があります。

(2) の個人研究の発表の後、班内で十分に話し合ってから発表の仕方も考えましょう。

#### A. ツリー型

班の中の 1 名の研究を柱として、他の班員の研究を付け加えながら 1 つの発表とする。

→ 研究発表としてはまとまりやすいが、発表で使用する個人研究のウェイトが人により大きく異なる。



#### B. 並木型

それぞれまたは数人の研究を並列的に取り上げ、それらから 1 つの提案としてまとめる。

→ 班員が公平に発表に係ることができ、最後のまとめに工夫とアイデアが必要となる。



※ 発表では一人 1 枚のプレゼンシートを作成し、発表に携わるように分業すること。

### (2) 個人研究の発表

～ 各授業で発表終了時間を決めて、準備・発表を時間厳守で行う

各班 4 ~ 7 人 (少人数の班は 2 つの班で) で一人司会を決めて、一人 5 分程度で個人研究を発表し、意見交換をする。その際、発表者と聴衆者はそれぞれの役割を誠実に果たすこと。

#### 《発表者》

個人レポートについて、次のことを明確にかつ効果的に伝える。

- A. **個人課題** (課題とした動機や昨年からの流れを述べても良い)
- B. **課題に対する仮説** (FWI, II の前後での変容が明確にできると良い)
- C. **検証方法** (FWI, II の意義を区別できると良い)
- D. **解決策の提案** (多面的に考え、エビデンス (根拠) のある提案をすること)

#### 《聴衆者》

研究を有意義にまとめるために、「個人研究発表ワークシート」に記入しながら、次の観点到に注意をして、発表を聞きましょう。10 月の課題研究発表会を成功させるためにも、この時点で、周りが適切に指摘することが大切です。

① 伝えたいことが明確であるか。

② エビデンス (根拠) のある提案であるか?

③ 多面的に物事をとらえているか (例: 売る側 or 買う側, 作る側 or 使う側など)